

## 総務委員会

平成27年度長崎市一般会計補正予算第2号(総務委員会所管部分)を修正可決

「明治日本の産業革命遺産 九州・山口と関連地域」の構成資産の世界遺産登録を見据え、観光客の増加に対応した受入態勢の充実を図るための世界遺産観光客受入費が計上されていることから、世界遺産への登録を踏まえた駐車場や誘導員の配置等も含めた受入態勢の構築状況、旧木型場の入場料設定の考え方、タブレット端末等に対応したICT設備の整備状況、構成資産だけでなく、市内全域で整備を進めていく考え、小菅修船場跡へのアクセスを路線バスではなく、タクシーや小型マイクロバスで運行する考え、観光マナーの周知徹底のあり方についてなど、慎重に審査しました。

また、教育厚生委員会において、民間保育所において定員増を伴う増改築等の施設整備にかかる経費を助成する児童福祉施設整備事業費補助金の一部を減額する修正案が可決されたことから、該当する歳入を減額する修正案が提出されました。

委員会では、修正案及び修正部分を除く原案について討論を行い、生活保

護費における冬季算の見直しに係る歳入部分は認められないなどの反対意見が出された一方、地方版総合戦略の策定については、人口減少対策、地域活性化対策として速やかに推進を図ってほしい、世界遺産登録に伴う観光客の受入れについては、全市を挙げて万全の態勢を構築してほしいなど賛成意見が出され、採決の結果、修正案のとおり原案を修正して可決しました。

## 教育厚生委員会

長崎市立小学校条例の一部を改正する条例に附帯決議を付して修正可決

今回の改正内容は、児童数が減少していること等を勘案し、佐古小学校及び仁田小学校を統合するのに伴い、両校を廃止し、新たに設置する小学校の名称及び位置を定めたいのと、出津小学校を黒崎東小学校に統合するのに伴い、出津小学校を廃止しようとするものです。

委員会では、協議会において新設校名の選定を行なった後の周知方法や地域住民から市に寄せられた意見等への対応について慎重に審査しました。

その結果、佐古小学校及び仁田小学校の統合に伴う新設校名の撤廃を求める陳情が提出されるなど、地域住民の

理解が十分に得られていないとの理由により、6名の委員から連名で、「佐古小学校」及び「仁田小学校」の廃止と「新たに設置する小学校の名称及び位置」を定める部分を削除しようとする修正案が提出され、採決の結果、修正案のとおり原案を修正して可決しました。

なお、今後、新たに設置する小学校の名称については、平成28年4月1日からの新設統合に向けて、広く地域住民への説明を行い、理解が得られるよう、十分な検討協議を加え、その結果に基づき、早急に必要な措置を講じることがを要請する旨の附帯決議を全会一致で決定しました。

## 環境経済委員会

平成27年度長崎市一般会計補正予算第2号(環境経済委員会所管部分)を可決

長崎ブリックホールの利便性の向上を図ろうとするための文化施設整備事業費が計上されていることから、県庁舎跡地へのホール機能の確保に係る県との協議がまだ整わないことを踏まえ、今後数年間の文化振興と交流人口の拡大の観点から公会堂の利用を再開する考えの有無、公会堂廃止に伴うブリックホールの使用料収入の増加見通

し、抜本的な改修を行う考えの有無について慎重に審査しました。

委員会では、ブリックホールであるゆるニーズに応えなければならぬため、市民の意見を酌んでより使いやすい施設にしてほしいとの賛成意見が出され、異議なく原案を可決しました。



▲長崎ブリックホール

## 建設水道委員会

平成27年度長崎市一般会計補正予算第2号(建設水道委員会所管部分)を可決

市営住宅を修繕するための市営住宅管理費が計上されていることから、退去修繕完了前に施工業者へ工事費を支払うといった不適切な事務処理や、退去から次の入居まで6ヶ月以上家賃収入が市に入らない状態の市営住宅の管理体制のあり方についてなど慎重に審査しました。

委員会では、市と指定管理者の双方のチェック体制を強化してほしいとの賛成意見が出され、異議なく原案を可決しました。